中　部　NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報
第３１９号
令和４年 新年号
発行：(公財)オイスカ中部日本研修センター
〒470－0328 豊田市勘八町勘八27－56
TEL 0565－42－1101 FAX 0565－42－1103
E-mail: chubu@oisca.org　http: //www.oisca.org/

新年のご挨拶

(公財)オイスカ愛知県支部
会長　光岡保之

迎えました令和４年が全ての皆様にとって、新たな希望に満ちた充実した１年になることを心から祈念いたします。オイスカにとっても61年目の新たなスタートです。

愛知県支部として今年度は３つの基本方針をもって臨みます。

＜1つ目＞は、中部センターと県支部の策定したチャレンジ10か年計画の１年目の実践と検証です。

＜2つ目＞は、会員拡大の一環として新たに３つの推進協議会の立ち上げです。

＜3つ目＞は、県内既存の13推進協議会の更なる活性化です。

１つ目のチャレンジ10か年計画は、センターの６部門については数値目標をもって取り組んでいますので、その実践と検証をチェックシートで確認してまいります。

2つ目の新たな3つの推協は、名古屋東推協と名古屋西推協、更に知立推協の立ち上げを推進します。

３つ目の既存推協の活性化は、各推協の総会と事業に積極的に参加させていただき、意見交換をさせていただきます。

いずれにしても会員の皆様と手を取り合って61年目の階段を確実に一歩上がってまいります。2歩の上がることは望みませんが、とどまることのないよう頑張りましょう。

新年のご挨拶

オイスカ中部日本後援会
会長　水野明久

新年を健やかにお迎えのことと心からのお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者が報告されてから二年が経過し、感染拡大リスクを抑制しつつ、社会・経済活動を活性化する動きが広がってまいりました。

オイスカ愛知県支部においても、会員数の減少や、海外研修生、技能生の来日ができず諸行事が中止や延期となる等、様々な影響を受けていましたが、一部の国において来日に向けた環境が整いつつあり、光明が差してまいりました。人類の英知によって、一日も早く新型コロナウイルスが収束に向かうことを切に願ってやみません。

昨年、オイスカ・インターナショナルは設立から60周年を迎え、愛知県支部においても新たに10ヶ年計画が策定されました。新規の会員獲得に向け、名古屋市をはじめ各地区に推進協議会を設置し、広報活動を進めていくなど、地域に根差した活動を積極的に展開していくと伺っております。

オイスカ中部日本後援会といたしましても、財政面からの支援を基軸に、オイスカ活動が末永く続くよう、尽力してまいる所存であります。

本年も、会員の皆さまの変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

オイスカ中部日本研修センター所長
小杉裕一郎

会員・支援者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中はオイスカ中部日本研修センターへの御支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、コロナ感染拡大の影響により海外研修生・技能実習生が入国できないという前代未聞の事態となりました。研修生のいないセンターは、生徒のいない学校のようで、改めて研修生の存在感の大きさを痛感した1年となりました。

また、フィジーの2名の研修生は帰国便がないため帰るに帰れず、日本滞在を約1年間延長して研修を継続しました。(今月帰国が叶います！)研修計画、農場運営計画がすべて狂ってしまい、センターとしても大変厳しい1年となりました。

一方で、オイスカ創立60周年という節目の年を迎えるにあたり、8月に4センターの所長・支部会長が一堂に会し、センターサミットを開催、10月には本部主催による国際シンポジウムが開催され、10か年計画が発表されました。

また、光岡会長の呼びかけにより、会員さんと一緒に栗やレモンの苗木を植樹し、オイスカ農場運営の一角を会員さんが担うという画期的な事業も立ち上がりました。

今年は、研修生・技能生の入国が叶うことを願いつつ、研修再開に向け職員一同全力で準備してまいります。また10か年計画に基づいてセンター運営を進め、年輪のように着実に結果がでる年にしてまいります。オイスカの国内における拠点としてのセンターとして会員の皆様のご支援を頼りに、更なる充実に努めてまいります。

今年もよろしくお願い申し上げます。

オイスカ友の会が「愛と絆の集い」を開催

11月28日(日)、オイスカ友の会(佐藤鋹弘会長)主催、オイスカ豊田推協共催で「愛と絆の集い」が開催されました。会場は豊田市末野原交流館ホール。佐藤会長と友の会役員さんが中心になり企画しました。会場はコロナ対策で定員の半分以下とし、約120名の市民の方にご参加をいただきました。

第一部はオイスカ本部海岸林再生プロジェクト担当部長の吉田が海岸林再生事業を中心に、オイスカの海外での取り組みや森林の働きを解説。

第二部は、宮城県名取市の閑上保育所元所長の佐竹悦子氏が、講師として三・一一当時の状況や避難の様子を語られ、そのうえで誰でも取り組める防災の備えや考えかたを説明いただきました。

終了後は募金活動があり、大阪チャリティマラソン支援として13,560円、海岸林再生プロジェクト支援として63,050円もの募金が寄せられました。募金は佐藤鋹弘会長から全額オイスカへ寄付いただきました。オイスカ友の会の皆様、参加いただいた市民の皆様に心から感謝いたします。

小杉裕一郎(筆)

挨拶をする佐藤鋹弘会長

佐竹悦子氏による講演

オイスカ本部吉田部長による報告

スーパーヤマワに感謝状を贈呈

12月9日(土)スーパーヤマワさん(各務原市)に感謝状を贈呈いたしました。

ヤマワさんは、オイスカの国際協力活動にご賛同をいただき20年にわたり店内にオイスカ支援を呼び掛ける募金箱を設置。お客様が入れて下さる募金を毎年寄付していただいております。オイスカ創立60周年を機会にセンターから感謝状をお渡しすることができました。地元のお客様で賑わうヤマワさん。これからもますますのご発展をお祈りしつつ、オイスカご支援をいただければと思います。ヤマワさんありがとうございます!!

小杉裕一郎(筆)

スーパー内に設置いただいている募金箱

鈴木康予さんに感謝状を贈呈

12月9日 鈴木康予さん(豊田推協会員)に感謝状を贈呈いたしました。

鈴木さんは、秋の叙勲で統計調査功労による「瑞宝単光章」を受賞され、当日センタースタッフ皆でお祝いをさせていただきました。

鈴木さんは、センターが西尾市から豊田市に移転して以来、30年にわたりセンターの野菜を知立市のバザーで販売をしてくださり、また海外研修生の生活に必要な物資を提供・寄贈いただいております。オイスカ創立60周年を機会にセンターから感謝状をお渡しすることができました。

これからもますますお元気で、センターとお付き合いをいただければと思います。鈴木さんありがとうございます!!

小杉裕一郎(筆)

渡辺素巳さんに感謝状贈呈

渡辺さんには、かれこれ40年程前からオイスカ中部日本研修センターの職員、海外研修生に散髪のご奉仕を続けていただいています。渡辺さんのオイスカとの出会いは、名古屋市内の某理髪店の店長時代に、当時オイスカセンターの杉浦利金所長（故人）のご縁から始まりました。その時は研修生の人数も多くて、夜になっても終わることなく研修生と談話しながら楽しい交流もできましたと思い出を話していただきました。現在もご奉仕を続けていただいていますが、ご本人曰く眼が悪くならない限り、職員、研修生への散髪を続けていきますと有り難いお言葉もいただきました。

オイスカ60周年記念にご奉仕に対しまして、ささやかではございますが感謝状贈呈をさせて頂き御礼とさせていただきます。渡辺さんこれからもどうぞよろしくお願いします。

川上洋右（筆）

アリフ・イクバル修了式

12月18日（土）ヤスキ建設㈱イクバル、㈲ワイルドグースアリフの技能実習修了式が執り行われました。修了式には3年間ご指導してくださった社長様方をはじめ、彼らの友人も沢山駆けつけてくれました。入国当初は日本の寒さに慣れず、文化の違いに戸惑うことも多かったと思います。しかし、3年間大きな病気、怪我をすることなく無事に実習を修了することができたのは受け入れ企業の皆様のサポートがあったからだと思います。日本で学んだこと活かして、マレーシアで活躍してくれることを願っております。

3年間厳しくも温かくご指導してくださいました、会社の方々、誠にありがとうございます。

中村仁美（筆）

トヨタファームより鶏のえさを寄付いただく

トヨタファーム様より鶏のエサになる、アワ、米粉、大若葉（乾燥粉砕）を頂きました。

かねてより「エコフィード・食品廃棄物で作った家畜用飼料」についてお勧め頂いており、今回は「鶏の餌になりそう」という事で鋤柄社長より声を掛けて頂きました。

上手く配合して経営改善に取り組みたいと思います。

筑田明生（筆）

グレゴリーワイルドグースさまで研修

11月29日から12月17日まで六回ぐらい wild goose で研修に行きました、さいしょはくるまあらいますとそうじします。はじめてタイヤこうかんをきかいでやりました、みるとかんたんとおもったけどやったらほんとにむずかしでした。

くるまのしゃけんいつもききますがなにをどこでやるのはしりません、しゃけんをいくまえにいろんなところてんけんしないとしゃけんおちるかのうせいがたかいです。12月1日はやみさんとしゃけんをやるばしょをけんがくにいきました。あそこはいろいろなくるまがみえます。あそこでさいしょうはけむりのテストをやります。つぎはブレーキあとはくるまのヘッドライト、さいごはくるまのしたをかくにんします、20分もないで終わりましたしょるいまどぐちにわたしてオケもらったらこのくるまのしゃけんおわりですまた2年か1年のあとまたやらないといけません。

このけんしゅうのもくてきはじぶんでいろいろなきかいを治せるようになりたいです、まだまだけいけんがすくないのでもっとべんきょうしてがんばりたいとおもいます。Wild goose の社長とスタフのみなさん大変お世話になりました、ありがとうございました。

グレゴリー（筆）

１２月研修生の活動 グレゴリー（筆）

こんげつパンきょうしつでべんきょうした meat pie です。

やっとあたらしビニルハウスできました。いましゅんぎくをうえています。らいねんのはるはトマトをさいばいしたいとおもいます。

更新会員名簿（677／807）

安城（65／75）三浦一光
岡崎（18／30）株式会社 レインボー
奥三河（6／7）穂積亮次
刈谷（34／44）株式会社 依佐美
豊田（193／237）鈴木 晤、石川俊秋、早川内科医院、後藤敦司、清水久善、アンシン建設工業 株式会社、あずき庵
名古屋（60／69）医療法人 朋寿会、リンナイ 株式会社、株式会社アイシン、株式会社 デンソー、株式会社 豊田自動織機
碧南高浜（51／58）株式会社 長谷川設備工業、伊藤正幸、株式会社山下忠平商店、クロダイト工業 株式会社
センター（31／44）サーラエナジー株式会社
（11月末までの入金を掲載）

新入会（個人）

稲垣博貴(豊田市)
太田亮輔(春日井市)
長縄裕一(名古屋市)
倉本三百子(四日市市)

新入会（法人）

日進工業 株式会社(碧南市)

寄付金

富田司(常滑市)
ヤマフ土地(半田市)
睦美産業 株式会社(半田市)
明興産業 株式会社(知多郡東浦町)
リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
株式会社 稲垣鉄工所(豊田市)
市原さおり(名古屋市)

寄付金（つづき）

ヤスキ建設 株式会社(安城市)
東洋金属 株式会社(丹羽郡扶桑町)
株式会社 ナカノ工業(半田市)
杉浦弘造(西尾市)
深津由子(豊田市)
加藤喜昭(名古屋市)
五島茂樹(犬山市)
杉浦房市(高浜市)
鬼頭絹江(安城市)
藤建興業 株式会社(名古屋市)
後藤里恵子(豊田市)
株式会社 寿恵弘(豊田市)
沼田昭雄(名古屋市)
中村さと子(高浜市)
愛知ダイハツ 株式会社(名古屋市)
神野春光(名古屋市)
市原さおり(名古屋市)
山口朝子(日進市)
亀山みつ子(碧南市)
長谷川幸一(丹羽郡扶桑町)
雲井純(三重県津市)
近藤將喬(豊田市)
若杉里子(名古屋市)
彰秀企業 株式会社(安城市)
鈴木きよみ(碧南市)
太田宗一郎(刈谷市)
吉川久喜子(名古屋市)
大豊工業 株式会社(豊田市)
一般財団法人 タイム技研社会貢献委員会(丹羽郡大口町)
竹尾博光(三重郡菰野町)
神野幸代(名古屋市)

書き損じはがき

佐藤仁功・美枝子(豊田市)
市脇公平(大府市)
川上洋右(豊田市)

寄付品

松石裕就(名古屋市)
北川藤良(豊川市)
近藤産興 株式会社(名古屋市)
亀屋商事 株式会社(羽島郡岐南町)
太啓建設 株式会社(豊田市)
鈴木康予(豊田市)
株式会社 寿恵弘(豊田市)
明保澄雄(岡崎市)
野中慎吾(豊田市)
日本モールド工業(株)(安城市)

インクカートリッジ

内藤正弘(豊田市)
市脇公平(大府市)
後藤齊(北設楽郡設楽町)
渡辺素巳(瀬戸市)

ベルマーク

佐藤弘美(豊田市)
市脇公平(大府市)

60th Anniversary